

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11291

湊御殿管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		文化スポーツ費	
	目		湊御殿費	
	大事業		湊御殿管理運営事業	
中事業				

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	坂井 正二 435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山市文化財保護条例		関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か) 市指定文化財(建造物)湊御殿を適正に維持管理する。			全体事業概要 市指定文化財(建造物)湊御殿を適正に維持管理する。		
	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
観覧者数 6,756人		観覧者数 8,283人	観覧者数 6,391人	観覧者数 人	観覧者数 人	

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	13,261	13,057	13,368	13,159	13,559	13,367	11,349	0	11,349	0
伸び率(%)	△1.8%	△1.4%	0.8%	0.8%	1.4%	1.6%	△16.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,829	2,067	2,473	2,712	3,117	4,956	5,595	0	5,595
	正規職員以外	12,221	12,221	9,964	10,188	9,428	10,003	8,716	0	8,716
	小計	14,050	14,288	12,437	12,900	12,545	14,959	14,311	0	14,311
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	123	90	85	71	79	72	74	0	74	0
一般財源(税等)	13,138	12,967	13,283	13,088	13,480	13,295	11,275	0	11,275	0
所要人数(人)	正規職員	0.23	0.26	0.31	0.34	0.39	0.62	0.70	0.00	0.70
	正規職員以外	4.56	4.56	3.99	4.08	3.80	3.80	4.38	0.00	4.38
主な予算内訳	使用料及び賃借料(土地借上料) 5,550千円 植栽等委託料 2,355千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
開場日数	日	目標値		365	365	365	365	365
		実績値		365	365	365		
		達成度(%)		100%	100%	100%	0%	%
観覧者数	人	目標値		9000	9000	9000	9000	9000
		実績値		6756	8283	6391		
		達成度(%)		75.1%	92.1%	71.0%	0%	%
		目標値						
		実績値						
		達成度(%)						

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	通年開場しているにもかかわらず、観覧者数は少なく、多くの人に来てもらえる仕組み作りが必要であった (平成23年度まで)。
見直し・改善内容	平成24年4月1日から、観覧料を半額 (一般100円) にするとともに、養翠園・和歌山城・旧中筋家住宅・市立博物館への一週間内の入場者は湊御殿入場料を無料にし、入場者増をはかった。